

研究活動歴の記載にあたって

- 1 提出された目録はそのままコピーするので、A4版の用紙に記載すること。
- 2 業績は、I 著書、II 総説、III 原著、IV 国際学会の Proceedings (抄録を除く)、V 学会発表、VI 特許、VII その他に分け、一連番号を付して発表年代順に記載すること。英文・邦文による区別はしないこと。

I 著書

現在までに蓄積された知識を系統的にまとめ、1冊で完結している資料をいう(単行本、分担執筆など)。

- (1) 著者が単独で執筆した著書にあつては、総ページ数を記載すること。
- (2) 数名の著者が共同で分担執筆している著書にあつては、著書名は連記し、本人の担当分について章、ページ数を列記する。
- (3) 編者のあるものについては、著者名とは別に編者名を記載する。
- (4) 同一の著書に2つ以上の論文を執筆している場合は、例に示すごとく、「枝番」をつけて記載すること。

II 総説

特定分野の最新の研究動向を全体的に展望し、研究の現状・問題点・今後の動向などを示唆する論文。

総説は原則として、医学中央雑誌及び Index Medicus に収載されている雑誌に掲載されたものとする。ただし、これら2誌に収録されていない雑誌については、委員会においてその都度検討する。

III 原著

他者が発表していないオリジナルな雑誌論文であるが、下記のごとく分類して記載すること。

III-1 原著

- (1) いわゆる原著を指し、以下の症例報告、治験報告を含まない。緒言・実験方法・結果・考察・引用文献よりなり、レフリー制を採る雑誌掲載のものを指す。
- (2) 1ページものの論文については、コピーを取り寄せ、その都度委員会において検討する。
- (3) 研究会機関誌掲載の論文は、「VII その他」に記載する。

III-2 症例報告

III-3 治験報告

IV 国際学会の Proceedings

V 学会発表

全国規模の学会における特別講演、宿題講演、シンポジウム、国際学会での発表及びこれに準ずるもののみ記載すること。ただし、「IV 国際学会の Proceedings」に記載したものは除くこと。(国内で行われる学会における一般演題については除くこと。)

VI 特許

VII その他

ここに含まれるものについては、その都度委員会で検討する。原則としては、次のとおりとする。

- (1) 上述した I、II、III、IV、V、VI の分類に含まれないものを記載する。
- (2) Letter to the editor 的な短報はここに記載する。
(ただし、Nature や Science などの場合は「・・・・(Nature 又は Science など)」と記載してください。)
- (3) Editorial、Correspondence 及び Supplement についてもここに記載する。
(ただし、Reviewer の評価を受けた場合は、supplement は「・・・・(reviewer)」と記載してください。)
- (4) 辞典、教科書、訳書、自らの執筆部分はないが監修・編集あるいは監訳したものをここに含める。

- 3 印刷中 (in press) の場合は、掲載証明書を必ず添付すること。

- 4 業績の著者名のうち、本人名にアンダーラインを引くこと。また、本人が corresponding author の論文には※印、equally contributing author (共筆頭著者) の論文には◎印をそれぞれ番号の前に付けること。

- 5 業績の記載例は、別紙「記載例」のとおりとする。また、発表雑誌名は通例(注)に従って、省略名を用いて記載すること。

注：通例とは、医学中央雑誌及び Index Medicus に収載されているものに準じる。

- 6 I、II、III、IV、V、VI、VII の分類で該当する業績がない場合は、当該分類欄に「該当なし」と記載すること。